

6. 北陸（地域別調査機関：（財）北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良くなっている	スーパー（店長）	お客様の様子	・高所得者層からは肉質の優れた“和牛”の品ぞろえを増やしてほしいとの強い要望がある。
	やや良くなっている	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・ファッションにおける景気のバロメーターは洋服に次いで雑貨関係であるが、なかでもサンダル、サマーバッグ、帽子、傘などは例年の120～150%の売上となり、活発な消費が見られた。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・梅雨に入ってから天候が良く、主力の中食も好調であった。また、7月から値上げされるたばこの仮需もあり、売上は前月比、前年同月比とも105%で推移している。
	変わらない	コンビニ（店長）	販売量の動き	・コンビニ業界で共通して言えるが、たばこの値上げ前の特需により単価と売上が上がっている。この特殊要因を除いても弁当、冷めん、パスタなどの販売量が好調に推移している。
		自動車備品販売店（従業員）	単価の動き	・夏の賞与を期待しての商談が増えており、予算も多少高くなっている。
	変わらない	通信会社（役員）	お客様の様子	・5～6月に実施したケーブルテレビの新規加入キャンペーンが目標を上回るペースで増加しており、更に2か月間延長した。
		美容室（経営者）	単価の動き	・客は店で推奨している美容商品に関心を持ち、購入するケースが多くなっている。
		スーパー（店長）	単価の動き	・来客数は急激に増加しているが、それ以上に単価の低下が激しい。各店の競合激化で特売商品がめじろ押しの状態となり、客の買い回りが続いている。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・原油高騰により、トレーなど石油製品が値上げされ、販売量が堅調であっても利益が圧迫されている。
		スーパー（総務担当）	来客数の動き	・大店舗やショッピングセンターでは来客数や食品の売上が伸びているが、小店舗では減少している。店舗の規模により客の流れに明暗が見られる。
		スーパー（営業担当）	販売量の動き	・1人当たり買上点数は変わらないが、出店競争の激化により、一品単価、客単価が低下している。最近の客は広告にあまり影響を受けない。
		スーパー（副店長）	単価の動き	・食品、青果物の客単価が前年に比べて約1割落ち込んでいる。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・例年6月は、7月のサマーセール待ちの客が多くなるが、今年は6月半ばからセールを実施した他店もあり、来客数が安定しなかった。
		家電量販店（経営者）	販売量の動き	・引き続きテレビは好調であるが、パソコンやエアコンが不調である。
乗用車販売店（経営者）		単価の動き	・購入の引き合いや見込み客は増加傾向にあるが、需要は相変わらず二極化しており、購買層は広がっていない。	
乗用車販売店（総務担当）	販売量の動き	・土・日曜日の来店数は少ないが、サービス工場への入庫台数は伸びて売上は拡大傾向にある。しかし、売上の過半数は新車、中古車で占めているため、やや厳しい状態である。		
乗用車販売店（経理担当）	販売量の動き	・小型車・軽四志向が続いており、大型セダンが主力の当社としては厳しい状況である。これを修理部門でカバーしているが、車検の台数も横ばい状態のため、RV車の拡販に努めている。		
スナック（経営者）	来客数の動き	・団体の予約が数回あり、貸切りという日もあったが、下旬は来客数が少なく、月全体では例年の9割程度になる可能性もある。サッカーワールドカップの影響もマイナスであった。		
都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・客単価は前年を若干下回っているものの、レストランの通常営業や宴会利用客では上回り、増収を見込んでいる。		
タクシー運転手	来客数の動き	・週末の夜はタクシーの利用がやや安定し、売上は上がるが、それ以外の平日はまだ厳しい状態である。サッカーワールドカップの日本戦があった夜の街中は閑散とし、全く仕事にならなかった。		
通信会社（営業担当）	販売量の動き	・待望のワンセグ携帯電話の新機種が発売され、6月独特の落ち込みも少ない状態で推移した。		

		テーマパーク（職員）	来客数の動き	・募集企画旅行の利用者数は減少しているが、外国人客が増え、団体、個人を合わせた全体の利用者数は横ばいで推移している。
		その他レジャー施設（職員）	来客数の動き	・前年に比べて来場者数が減少したが、特に遠方からの日帰り客の減少が目立つ。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・住宅は高額のため商談に時間が掛かり、苦戦が続いている。
		住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・長期金利の先高感があるにもかかわらず、来場者数は横ばいで動きが鈍い。
		住宅販売会社（総務担当）	お客様の様子	・金利上昇を予想しての駆け込みは見られるが、購入判断の大きな要因とはなっていない。
やや悪くなっている		商店街（代表者）	競争相手の様子	・街中、郊外を問わず、新規店舗の出店が相次ぐため、売場面積は拡大の方向にある。競争激化の半面、マーケットの拡大にもつながるため、今後の展開は不透明である。
		百貨店（売場主任）	来客数の動き	・目的買い以外の客の来店が減少気味である。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・空梅雨のため、婦人向けのプロパー商品の動きは鈍く、単品買いが目立った。客からは変化に富んだ商品を望む声が多く、対応に苦慮した。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・山側環状バスの開通に伴い、隣接する国道の交通量が減ったため、来客数に影響が出ている。
		家電量販店（店員）	販売量の動き	・サッカーワールドカップによる需要も加わり、テレビやDVDレコーダーは好調に推移していたが、日本が敗れた後は勢いが止まった。また、季節商品も苦戦している。
		住関連専門店（店長）	販売量の動き	・チラシを投入しても反響が弱く、スポット商品の動きも悪い。新築、プライダル用の家具のまとめ買いが少ないことが売上低迷の原因である。
		一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・春先に景気回復の兆しが見えたものの、サッカーワールドカップの影響や前年の販売促進の反動もあり、売上は前年割れの恐れがある。
		タクシー運転手	販売量の動き	・夜、日中とも暇な状態で、売上は前年比で5%減少している。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・携帯電話の買換え需要が前年を下回った。客の使用機種が高機能化し、また使用機能の慣れなどもあり、新機種が発売されても無理に買い換える必要がないと判断したためとみられる。
		住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・最近の銀行ローン金利が2、3か月前と比較して上昇しているため、客の動きが鈍くなっている。
	悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・駐車違反の民間委託が始まったが、マスコミが騒ぎ過ぎたため、街中の商店街への客足は遠のいてしまった。商店街では指定駐車場を記したマップ等も作成したが、これを見てくれる肝心の客がいない。
企業動向関連	良くなっている	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・引き合い、受注共に件数、金額は過去のピークを更新している。
	やや良くなっている	食料品製造業（企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・商品構成が変化し、高額品の割合が増えた。
		繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・昨年末に防寒衣料が売れたことから、納入先の在庫が少なくなり、今年の秋冬に向けての受注が予想以上に堅調である。
		繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・近年、中国を中心とした海外からの輸入製品がますます多くなっており、ボリュームゾーンの価格競争に巻き込まれない商品展開に留意している。
変わらない		精密機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・眼鏡の受注量はほぼ横ばいで推移している。
		建設業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・建築は工事量が増加傾向にあるものの、受注価格競争がますます激しくなっており、採算を確保しての受注は厳しい。
		輸送業（配車担当）	取引先の様子	・物量は前年並みであるが、燃料費などのコストアップにより、苦しい状況が続いている。
		輸送業（配車担当）	受注価格や販売価格の動き	・徐々にではあるが、荷動きが良くなっている。しかし、軽油の負担増は大きく、全体的には変化がない。
		金融業（融資担当）	取引先の様子	・小売業の売上は伸び悩んでいる。
		新聞販売店〔広告〕（従業員）	受注量や販売量の動き	・ここ数か月は受注単価が下降気味であるが、受注量がそれを上回っている。

		司法書士	取引先の様子	・新規開業や新しい起業の相談がある一方で、老舗といわれる店の廃業の相談もいくつかあった。
	やや悪くなっている			
	悪くなっている	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・国土交通省からの発注は全国大手業者のランクの工事ばかりで、地元の業者は入札に参加できない。また、地方自治体の工事は、財政難から極めて発注が少ない。
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている			
	変わらない	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・人材派遣、紹介の求人数はやや横ばいながらも依然として高水準にある。ただし、料金の値上げ交渉は難航気味である。
		職業安定所（職員）	雇用形態の様子	・非正規型求人は常用で5割を占めつつあり、雇用のミスマッチの大きな一因となっている。雇用の安定にはまだ不安がある。
		学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・企業からの求人が年間を通して見られる。
	やや悪くなっている	求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・求人件数が3か月前に比べ15%減少し、企業の求人意欲が鈍化している。
		職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・公共工事の減少により、官公庁からの受注業務を主体としていた土木関係事業所の企業整備が相次いだ。
悪くなっている	-	-	-	